KEYUCA

食洗機対応
楽に洗えるステンレスボトル
取扱説明書



取扱い上の注意

●ご使用になる時は、やけどや飲料物の変質・変色、製品の故障・汚れを防ぐために、下記のことは必ずお守りください。

ご注意とお願い　ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

表示マークの意味について

●製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

⚠ 警告	死亡、または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	軽傷、または物的損害を負うおそれがある内容を示しています。

図記号について

禁止	してはいけない内容（禁止）を表しています。
必ずおこなう	必ずお守りいただく内容を表しています。

⚠ 警告

乳幼児の手の届く所には置かないでください。
また、いたずらには十分注意してください。
やけどやケガの原因になります。

自動車や自転車の走行中には使用しないでください。
飲料物がこぼれ、やけどやものを汚す原因になります。
また、運転時の注意が散漫になり、事故の原因になります。

熱い飲料物を入れた直後、本体を振らないでください。
内圧が急に上がり、フタが開けにくくなったり、開ける時に音がする場合があります。

熱い飲料物を入れ、長時間保温放置しないでください。
内圧が下がり、フタが開けにくくなったり、開ける時に音がする場合があります。

傾けた状態・顔を近づけた状態でフタを開けないでください。
沸騰した熱湯を入れた場合、本体の内圧が上がり、吹き出すおそれがあります。

フタや中栓が正しく取り付けられていることを確認し、確実に閉めてください。
漏れの原因になります。

⚠ 注意

真空二重構造の内部から水の音がする場合は使用しないでください。
真空層の水が本体内側にしみ出した場合、飲むと体調不良の原因になります。

改造・分解・修理はしないでください。
故障・事故の原因になります。

熱い飲料物を入れた場合、飲み口が熱くなり、やけどをするおそれがありますので注意してください。

飲料物を入れた状態で長く放置しないでください。
腐敗や変質の原因になります。

落とす・ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。
変形による漏れや保温・保冷不良の原因になります。

電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び、ケガやレンジ故障の原因になります。

冷凍庫に入れないでください。
漏れや破損の原因になります。

次のものは絶対に入れないでください。
- ドライアイス、炭酸飲料…フタが開かなくなり、破損し飛び散るおそれがあります。
- 味噌汁、スープなど…塩分により、本体内部が腐食する場合があります。
- 牛乳、乳製品、果汁などの腐りやすいもの…入れたまま放置すると腐敗し、ガスが発生することでフタが開かなくなり、破損し飛び散る場合があります。
- スポーツドリンクなど…塩分により、本体内部が腐食する場合があります。
  ※内側がセラミックなどでコーティングされたもの、特殊な加工が施されたもののみご使用いただけます。
- お茶の葉、果肉を含んだもの…隙間に詰まり、中身が漏れる場合があります。

フタを持って持ち運びしないでください。
本体が抜け落ちて、やけどやケガの原因になります。

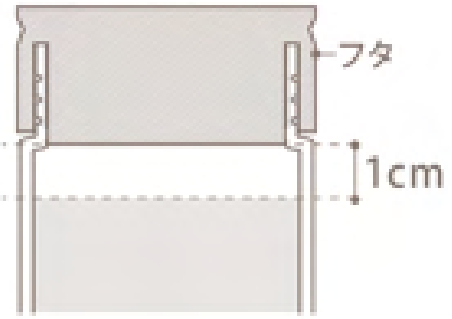
横置きはしないでください。
漏れの原因になります。

底面のシール（保護シート）がついている場合は、剥がさないでください。
保温・保冷不良の原因になります。

飲料物の保温・保冷以外の用途には使用しないでください。

飲料物の量は、適正容量以下にしてください。

飲料物の適正容量は、フタを閉めた際の最下面より1cm程度下の水位線を目安に設定しています。



【注意】
入れすぎるとフタを閉めた時に飲料物があふれる原因になります。また、ご使用中に漏れの原因になります。

長時間保管しないでください。

飲料物の色や風味が変わることがあります。

携帯電話、パソコン、デジタルカメラ等の精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。

飲料物が漏れた場合、精密機器破損の原因になるおそれがあります。

ケトルなどから直接飲料物を入れる場合、ケトルの口を本体のフチにあてないでください。

本体が転倒して、やけどやケガの原因になります。

コンロやストーブなど、火気のそばには近づけないでください。

やけどや変形・変色の原因になります。

直射日光の当たる場所や、自動車の中などに放置しないでください。

変形・変色・保冷効果が落ちる原因になります。

自動車のドリンクホルダーを使用する際は、あらかじめ強度や安全性を確認してください。

強度や固定が不十分ですと、ホルダーが外れたり破損してやけどやものを汚す原因になります。

湿気や湯気によりフタの内側に水滴がつくことがあります。その場合は、乾いた布などで拭き取ってください。

漏れの原因になります。

大きな氷を入れる場合は押し込まず、小さくしてから入れてください。

口部が変形し、漏れや保温・保冷不良の原因になります。

使用中や洗浄の際は、製品の先端及びエッジ部分でケガをするおそれがありますので、十分ご注意ください。

お手入れ

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、大切に保管してください。

初めてのご使用の際に

以下の手順でお手入れしてください。

①食器用洗剤を使用し、柔らかいスポンジまたはブラシでよく洗ってください。
②本体に少量の熱湯を入れ、確実にフタ・中栓を閉める。
③本体を軽く数回ふる（強くやりすぎないでください、熱湯が吹き出します。）
④お湯を捨てる。

【フタ・中栓が固く、とり外しにくい場合】

60℃程度のお湯に 2 ～ 3 分つけますと外しやすくなります。

お手入れ上の注意 お手入れの前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

【食器洗浄機・食器乾燥機 使用上の注意】

●食器洗浄機・食器乾燥機を使用できます。
●食器洗浄機・食器乾燥機の取扱説明書を十分にご確認のうえ、ご使用ください。
●食器洗浄機・食器乾燥機使用時の温度設定は中低温をおすすめします。また、製品の上に食器類を積み重ねて乾燥させると、重みにより製品が変形するおそれがあります。
●食器洗浄機・食器乾燥機のヒーター部に触れたり、落とさないようにしてください。発煙、焦げ、溶け、においの原因になります。
●業務用の食器洗浄機・食器乾燥機の使用はさけてください。
●研磨材入りの洗剤の使用はさけてください。塗装がはがれるおそれがあります。

●煮沸消毒をしないでください。
また、本体内側以外は熱湯消毒をしないでください。

変形による漏れや保温・保冷不良の原因になります。また、塗装や底面のシール（保護シート）のはがれ、変色、腐食の原因になります。

●シンナー類・クレンザー・金属たわし・アルコール・化学ぞうきんなどは使用しないでください。

キズや塗装のはがれ、腐食の原因になります。

普段のお手入れ

●清潔に使用していただくために、ご使用後はその日のうちにお手入れをしてください。
●お手入れは、食器用中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジまたはブラシでよく洗ってください。
●すすいだ後は、水気を拭き取り十分に乾燥させてください。

●長期間使用しない時は、汚れを十分落とし、よく乾燥させてください。高温多湿の場所をさけて保管してください。

※コーヒーやお茶などの色の濃い飲料物を入れると、フタ・中栓は変色しますが、品質上問題はありません。

部品名＼洗い方		流水洗い	つけ洗い	酸素系漂白剤	塩素系漂白剤	食器洗い乾燥機
フタ・中栓		○	○	○	○	○
本体	内側	○	○	○	×	○
	外側	○	×	×	×	○

※つけ洗いをする際は、フタ・中栓を分解してください。
※漂白剤をご使用の際は、漂白剤の取扱説明書に従って正しくご使用ください。
※本体は水中に放置しないでください。本体と底の隙間に水が浸入し、サビや保温・保冷不良などの原因になります。
※鉄やアルミなどと製品が長時間触れますと、サビますのでさけてください。

本体内側のお手入れ

【斑点状の赤いサビが付着している場合】
水に含まれる鉄分などが付着したものです。本体内側にお湯を入れ、食酢を10%程度加えてフタ・中栓を必ずはずして約1時間放置後、よく洗ってください。

【ザラザラしたものが付着している場合】
水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。本体内側にお湯を入れ、クエン酸を10%程度加えてフタ・中栓を必ずはずして約3時間放置後、よく洗ってください。

【汚れや臭いが気になる場合】
酸素系漂白剤を本体内側に入れ、フタ・中栓を必ずはずして約30分放置後、よく洗ってください。

この商品は行き届いた品質管理のもとで生産されておりますが、万一不良品やお気づきの点がございましたらご連絡ください。



電子レンジ不可



冷凍不可

KEYUCA www.keyuca.com
河淳株式会社
東京都中央区日本橋浜町3-15-1

Ver.03